

ひいらぎアリーナが完成

5月12日から供用開始!



新市誕生20周年という記念すべき節目に、ひいらぎスポーツパーク（小林市総合運動公園）内に複合体育館「ひいらぎアリーナ」が完成しました。

小林市が推進する健幸のまちづくりの拠点施設として整備を進めてきた同施設は、5月12日からついに供用を開始します。

スポーツのまち小林を象徴する施設に

ひいらぎアリーナを含む総合運動公園は昭和55年の整備計画策定以来、陸上競技場や野球場、プールなどを順次整備してきました。今回のアリーナの完成をもって、長年進めてきた総合運動公園づくりが全て完

了することになります。計画から約半世紀、スポーツのまち小林を象徴する拠点が、全ての機能を備え、いよいよ始動します。

健康づくりと子育てを応援する複合施設

完成した施設は鉄筋コンクリート造で、延べ床面積は6947平方メートル。メインアリーナはバレー

コート3面を確保できる広さがあり、2階には車いす席を含む計834席の観覧席を設けています。アリーナは、こうした最新の体育館としての機能に加え、健康づくりをサポートする機能や子育て世代を応援する子育て支援機能などを備えた複合型施設。

さまざまな機能を備えることで、誰もが気軽に集い、世代を超えて交流できる場所となり、市の活性化にも大きくつながることが期待されます。

いざという時には防災拠点として活躍

また、有事の際に命を守る防災機能が充実しているのも大きな特徴です。大規模災害時には、避難所として活用できるだけでなく、想定される南海トラ

フ巨大地震などにおいては、小林インターチェンジから近い立地を最大限に生かし、運動公園全体が被災地への広域的な後方支援拠点として機能します。地域の安心・安全を確保し、持続可能なまちづくりを支える心強い施設です。

来年は国スポ・障スポの熱戦の舞台に

さらに、いよいよ来年に

迫った日本のひなた宮崎国スポ・障スポでは、このアリーナが熱戦の舞台として全国から注目を集めます。国スポの少年女子バレーボールやトランポリンに加え、障スポのパレーボール（精神障害の部）、デモンストレーションスポーツのソフトラレーボールが同施設を中心に開催されます。全国から集まるトップアスリートたちの活躍を新しく完成したアリーナ

で一緒に応援しませんか。この施設が世代を問わず多くの市民に親しまれ、日常のスポーツからイベントまで幅広く活用される拠点となることで、人々の交流の輪が広がり、小林市はさらに活気あふれるまちへと発展していきます。たくさんの魅力が詰まったひいらぎアリーナに、家族や友人と、ぜひ気軽に足を運んでみてください。

アクセス情報



5/12から

ひいらぎアリーナでできること!

1 アリーナ機能の主な概要

■メインアリーナ

- ・バレーボール3面
- ・バスケットボール2面
- ・ハンドボール1面
- ・ミニバレー6面 の広さ

※2階には1周200mのランニングコースを完備しており、雨天時も運動することができます

▼アリーナの使用料金はコチラ



2 健康づくり機能と子育て支援機能

■多目的室

健（検）診や軽い運動での利用ができるほか、大会時のウォーミングアップ会場としても使えます。

■子育て支援センター

屋内遊び場や相談室などが完備されており、子育て世帯の交流の場として利用できます。

※診察室やクッキングスタジオなどもあります

3 健幸ポイントの窓口もアリーナに

これまで企画政策課が行っていた、健幸ポイントを始めとする健幸のまちづくり業務を健康推進課に移管。5月12日からはアリーナでの手続きが必要となります。

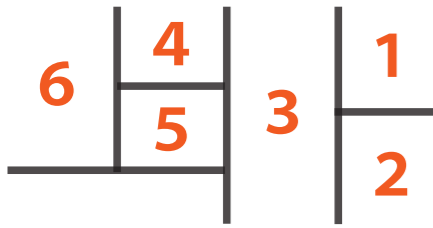


※令和8年度の新規申し込みは6月中旬ごろ開始します





1. 式典には小林の未来を担う小中学生も多数参加
2. ネーミングライツスポンサー協定締結式での調印の様子
3. 市長ら関係者がテープカットやくす玉割りを行い、新施設の完成を盛大に祝いました
4. 式典終了後に内覧会を実施。参加者たちは新しく、充実した設備を見て回りました
5. アリーナ内に警備ロボットを配備。日中・夜間を問わずパトロールを行います
6. 2階にはランニングコースを整備。雨天時も運動することができます



一足先にひいらぎアリーナを体感 供用開始前に施設の内覧会を開催

4月9日から15日にかけて、完成したばかりのひいらぎアリーナを自由に見学できる内覧会を開催しました。新しいアリーナをひと目見ようと、期間中は市内外から約1,200人が来場し施設内にはぎわいを見せました。来場者には国スポ・障スポの市オリジナルグッズを配布し、大会に向けたPRも併せて行いました。



Interview



晴美さん
丸岩光廣さん

広報紙などで内覧会のことを知り、あまりない機会だと思って来場しました。近くに住んでいて、屋根がついたときにはいよいよ完成だとうれしかったです。素晴らしい施設が完成したと思います。外構工事が終わり、完全な姿になるのが楽しみです。市外からたくさんの方がこの施設に合宿や遠征で訪れ、利用されるようになったらうれしいです。



志穂さん
友希人くん
天里慎太郎さん

保健センターが移ると聞いて、今後利用する機会があるのではと思い、見学にきました。アリーナが広くて綺麗でとても驚きました。また、子育て支援センターの近くのトイレは子ども用のトイレが完備されているのが良かったです。市内には、雨の日に子どもを遊ばせる場所が少ないので、施設内に遊具が設置されるのもうれしいですね。

複合体育館の竣工式を開催 愛称は「ひいらぎアリーナ」

令和6年10月から建設が始まり、総合運動公園内に整備を進めていた複合体育館が完成し、3月28日に竣工式を執り行いました。

式典終了後には、内覧会も実施し、式典参加者約140人は新しく充実した設備に見入っていました。また、竣工式に合わせて

式辞で宮原市長は、「体育館としての機能だけでなく、子育て支援や災害時の避難所としても活用できる。市民の健康づくりに加え、国スポなどさまざまなイベントで活用し、市がさらに活性化することを期待している」とあいさつ。

総合運動公園のネーミングライツ(命名権)スポンサー協定締結式も行いました。5年間・総額2500万円で命名権を取得したのは、小林市を拠点に全国各地で飲食店などを展開する、ひいらぎホールディングス株式会社(株崎庄二代表取締役社長)。

式典では、市内21の小中学校から集まった児童生徒の代表者たちと一緒にテープカットやくす玉割りを行い、完成を祝いました。また、アリーナ整備に携わった8事業者に感謝状を贈呈し、安全な作業により事故なく施設が完成したことへの感謝を伝えました。

これによって、小林市総合運動公園の愛称はひいらぎスポーツパークこばやしに、複合体育館はひいらぎアリーナに決定しました。今後、公園に愛称を記したパネルを設置するなど、市の新たなシンボルとなる施設を発信していきます。

創業の地小林へ 恩返しを込めて

ひいらぎホールディングスは、創業時から本社を小林市に構えており、現在、全国で270店舗、県内でも50店舗の飲食店を展開しています。

今回の取り組みをきっかけに、市民の皆さまに当社を知っていただければうれしいです。

今後、ひいらぎスポーツパークこばやしと、ひいらぎアリーナが市内外から多くの方々を迎える活力あふれる施設となるよう、協力していきます。引き続き、さまざまな形で地域貢献を通じて、小林市の発展に寄与していきたいです。

ひいらぎホールディングス株式会社
株崎庄二代表取締役社長

